

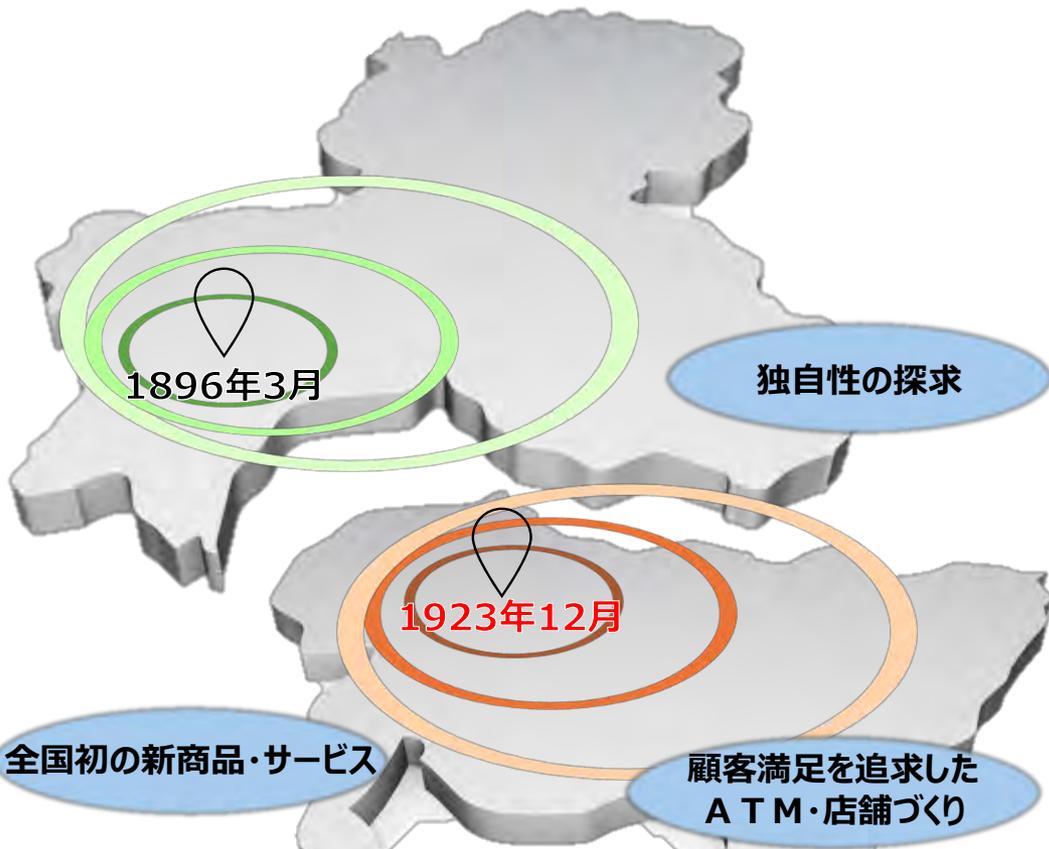
I : 2025年3月期 決算概要

II : 企業価値向上に向けた取り組み

III : 2026年3月期 業績予想

付属 : サステナビリティ推進に関する方針、取り組み

かねてから『銀行はサービス業』を掲げ、お客さまの利便性の向上に取り組むことで、お客さまとの新たな取引を創出し、営業基盤を拡大させてまいりました



## 岐阜県

- 県内総生産 80,109億円
- 総人口 191万人
- 新築住宅着工戸数 8,887戸

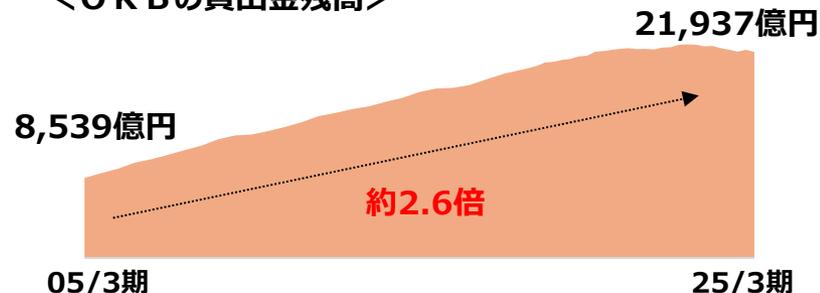
<OKBの貸出金残高>



## 愛知県

- 県内総生産 405,859億円
- 総人口 745万人
- 新築住宅着工戸数 56,119戸

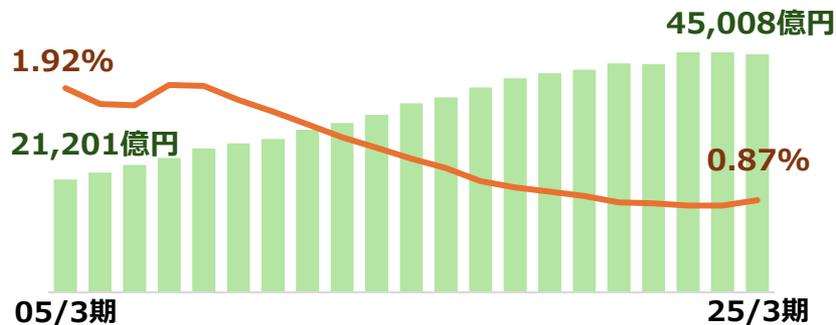
<OKBの貸出金残高>



- 1994.9 キャッシュコーナーの年中無休稼働開始 **国内金融機関初**
- 1998.11 年中無休窓口営業店舗開設 **全国金融機関初**
- 2000.4 移動店舗運行開始 **全国金融機関初**
- 2012.9 キャッシュカード・通帳が不要な「手のひら認証ATM『ピビット』」導入 **全国初**
- 2013.4 ドライブスルー店舗開設 **全国金融機関初**
- 2022.5 ローカル共Co-プロジェクト（自治体向けコンサルチーム）発足
- 2024.4 オープンイノベーション創出支援拠点「OKB SCLAMB」開設

競争の激しい愛知県内での残高積上げに伴い、低利回り貸出が増加。独自性を追求したサービスの展開により経費が高止まりしたことも相まって、内部留保の積上げが十分に叶わず、自己資本比率は長らくの間、低位で推移

貸出金利回り  
貸出金平残



自己資本比率 (単体)



コアOHR (単体)



## 選択と集中

### 地域を幸せにする取り組み

- 経営資源の最適配置による効果的な価値創造
- 地域のイノベーション支援
- 地域産業・雇用・暮らしの発展への貢献

長期ビジョン  
地域と社員を  
幸せにする  
OKBグループ

### 社員を幸せにする取り組み

- 会社と社員の目指す価値の共有による信頼関係構築
- 信頼関係を土台にした高活力・自律型組織の実現
- エンゲージメント測定結果に基づく継続的な改善を実施し、エンゲージメントの向上を図る

## 人的資本価値の最大化

現中期経営計画は、前中期経営計画から続く経営基盤強化を完遂する変革達成期とするとともに、持続可能なビジネスモデルの実現に向けた体質改革に取り組む基盤構築期としています

## 体質改革

2024年4月～2027年3月

### 新中期経営計画

## Always

～変わらぬ想いで、明日を変える～

## 構造改革

2021年4月～2024年3月

### 中期経営計画 「Let's Do It!」

#### 3C戦略

- コンサルティング型ビジネスモデルの強化
- お客さまとの接点強化
- 業務プロセス改革



成長戦略

まち・ひと・しごとをつなぎ、  
新たな価値を創造



人財戦略

人のつながりにより、  
社員の幸せと活力ある組織へ



経営基盤強化

強固な経営基盤で  
未来へつなぐ

長期的に目指す姿

地域と社員を幸せにする

OKBグループ

～お客さまからの「ありがとう」の追求～

目指す地域社会像



豊かな地域社会の発展

目指すOKBグループ像



付加価値創造企業

目指す組織像



高活力・自律型組織

目指す社員像



はたらくしあわせ

DX戦略

地域のイノベーション支援

## サステナビリティ基本方針

OKBグループは、サステナビリティを巡る課題への対応を重要な経営課題として認識し、「地域循環型社会の担い手として、持続可能な地域づくりに貢献する」ことで、OKBグループの経営の基本理念の実現を図ってまいります

中期経営計画「Always」では、成長戦略、人財戦略、経営基盤強化の取り組みによってROEの向上に努めるとともに、株主との積極的な対話やサステナビリティへの取り組みを通じてPERの改善に努めることで、企業価値の向上を目指しています



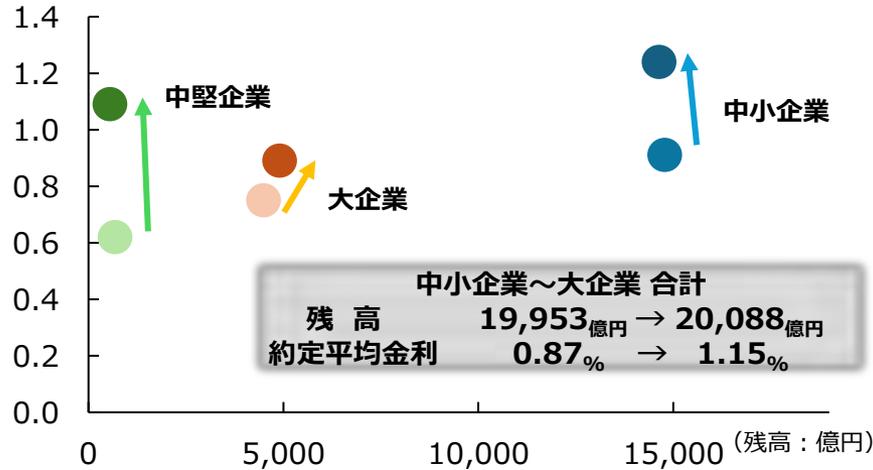
国内金利上昇の環境下、貸出金の利回り確保に向けた適切なプライシングに努めた結果、平均約定金利が上昇  
事業承継やM&A業務拡大のため、専担者を増員。M&Aの受託件数が増加したほか、ファンドによる投資機会も増加

## 貸出金利回り改善による収益力強化

■ 事業規模別の貸出金の推移 (2024年3月末→2025年3月末)

※金融保険業向けを除く

(約定平均金利：%)

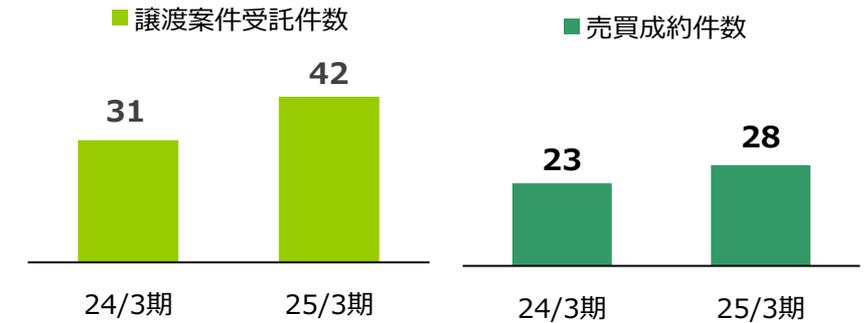


## M&Aによる地域産業の発展

■ 専担者の増員

事業承継・M&A 本部専担者  
**7人 → 12人**

■ M&Aの取組状況 (単位：件)



## 事業承継による地域産業の発展

■ OKBキャピタルの主な事業承継ファンド

18年3月 **事業承継Ⅰ** サイズ10億円 投資額8.1億円 ネットIRR(見込)12.68%

19年7月 **未来Link** サイズ15億円 投資額11.8億円 ネットIRR(見込)13.18%

20年9月 **事業承継Ⅱ** サイズ15億円 投資額4.0億円 ネットIRR(見込)19.61%

23年4月 **事業承継Ⅲ～ふえきりゆうこう～** サイズ20億円 投資額8.0億円

設立準備中 (次号ファンド) サイズ60億円規模



OKBキャピタル 専担者  
**3人 → 5人**

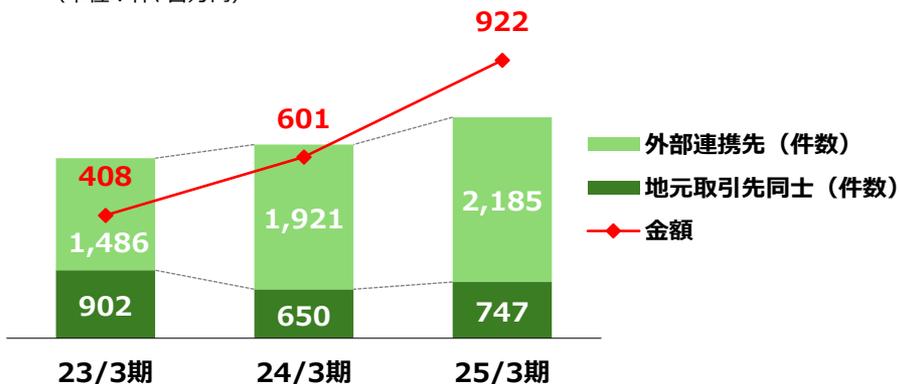
(法人) 多様化・複雑化する企業の経営課題に対し、ビジネスパートナーとの協力体制を構築してアプローチを実施  
 (個人) 法人オーナーを中心とした会社役員との接点強化に努め、信頼関係構築によりビジネスの広がりを志向

## 法人

### ■ ビジネスマッチング契約件数 (外部との連携)

外部連携先との契約が増加し、ビジネスマッチング手数料は増加

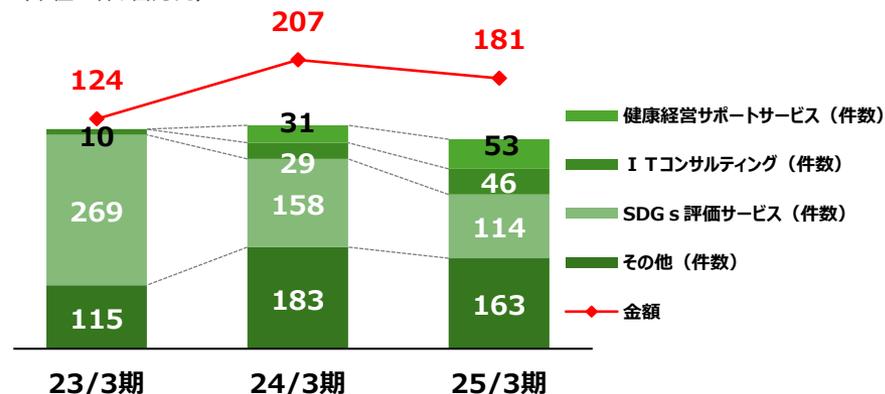
(単位：件、百万円)



### ■ 当社独自のソリューションメニュー

時代のニーズに沿ったコンサルティングに努め、企業の経営課題を解決

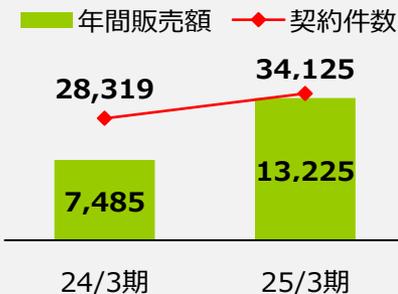
(単位：件、百万円)



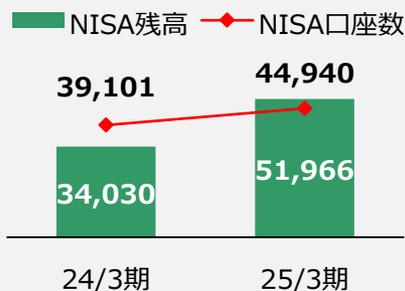
## 個人

### ■ 資産形成層を中心としたNISA推進

投資信託定時定額購入サービス  
販売実績 (単位：件、百万円)



NISA口座数と残高推移  
(単位：件、百万円)



### ■ 会社役員ニーズに対する取り組み (24/3期→25/3期)

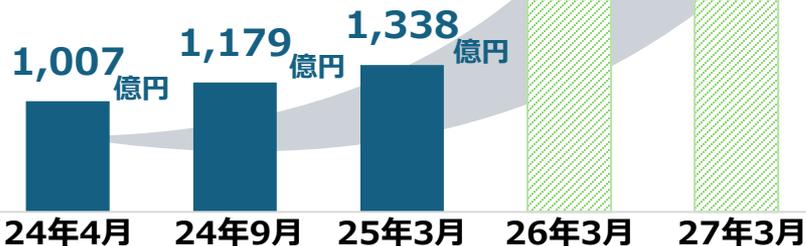


2024年4月にストラクチャード・ファイナンス部を創設し、アセットファイナンスの推進体制を強化  
 地方自治体向けコンサルティング（ローカル共Co-プロジェクト）はマネタイズが進展

## アセットファイナンス残高推移



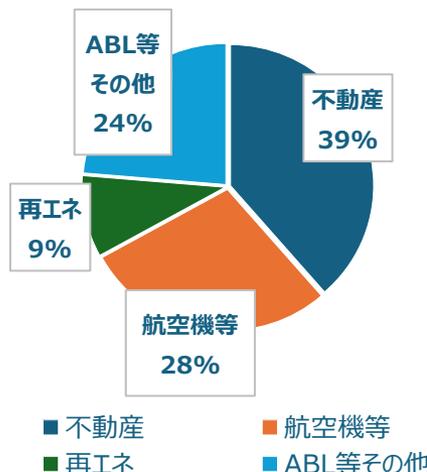
ストラクチャード・ファイナンス部を創設し、注力分野として取り組み



## アセットファイナンスのポートフォリオ内訳

### ■ 2025年3月末時点

|          | 残高 (億円)      |
|----------|--------------|
| 不動産      | 516          |
| 航空機等     | 380          |
| 再エネ関連    | 125          |
| ABL等その他  | 316          |
| <b>計</b> | <b>1,338</b> |



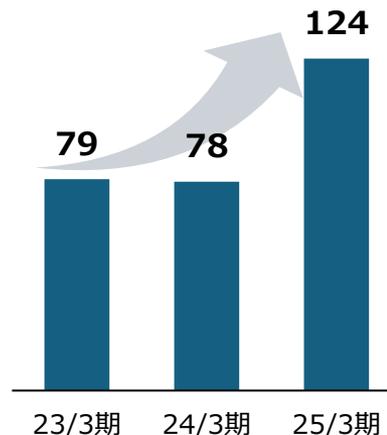
## ローカル共Co-プロジェクト



### CONTENTS

- I. プロモーション  
映像、WEB、冊子などのコンテンツ制作、イベント企画 など
- II. ブランディング  
ふるさと納税支援、商品開発、拠点開発、地域産業の振興促進 など
- III. DX支援  
キャッシュレス、地域通貨、クラウドファンディング導入支援 など
- IV. 調査・計画策定  
ビジョン策定、計画策定、産業・経済動向調査 など

### ■ 受入手数料 (百万円)



2025年3月「地方創生に資する地域金融機関等の特徴的な取組事例」に選出

時代の変遷によりお客さまのニーズに合致しなくなった商品・サービスを改廃。生み出されたリソースをお客さまのニーズに合致した商品・サービスの開発に投資するため、アイデアコンテストを実施し社員のアイデアからイノベーションを起こす取り組みをすすめている

## 商品サービスの改廃

### 個人向け商品サービスのリニューアル

#### サンクスポイント

1995年に全国金融機関初の取り組みとして開始したサービス。

OKBとのお取引毎にポイントが貯まるポイントプログラム。貯まったポイントは、魅力的な夢のある特典と引き換え可能。



#### 有料総合口座

2001年に様々な特典が受けられる有料総合口座の取り扱いを開始。

- <ゴールド総合口座特典例>
- プロパーATM時間外手数料  
→24時間365日無料
- サンクスポイント  
→通常の2倍付与



リニューアル



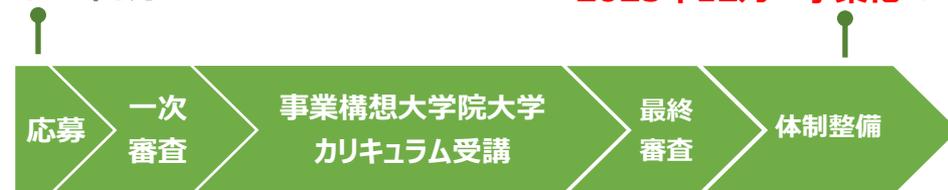
2025年4月  
サービス開始

シンプルで、使いやすいサービスを、たくさんのお客さまに

## 商品・サービスの開発 (アイデアコンテストの実施)

2024年8月

2025年12月～事業化へ



2024年11月  
審査結果  
11名が審査通過

2025年1月  
事業構想大学院大学にてプロジェクト研究開始  
※新事業をつくることを目的とした大学院大学  
2025年1月～2025年11月 全24回

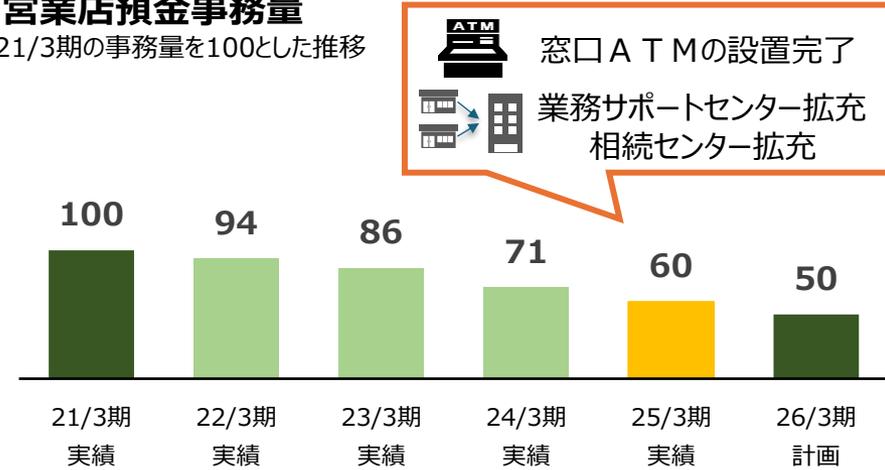


## 業務プロセス改革

営業店を「事務処理の場」から「営業推進の場」へ変えるべく、営業店事務の効率化・削減により営業推進時間を創出する取り組みを継続

### 営業店預金事務量

※21/3期の事務量を100とした推移



### 営業店ローン事務量

無担保ローンWEB完結化  
住宅ローン事務を  
ローン事務センターに集約

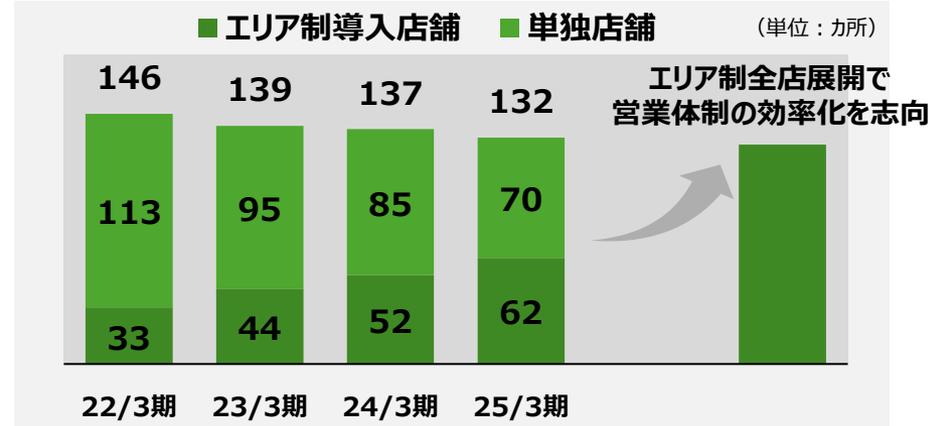
営業店ローン人員  
427名分の事務量  
(一部店舗除く)

本部に18名増配置

## 店舗改革

機能別再編（エリア制）により営業人員の集約、営業体制の効率化を実施。今後は店舗機能を見直しエリア制を全店展開することで、運営体制の効率化と顧客接点確保を両立する。

### 拠点数の推移



## マスメール分野の人的リソース

預金業務やローン業務といったマスメール分野は、デジタル技術の活用による省力化と店舗機能別再編による省人化により、人的リソースの捻出を志向

### 【事務人員数（預金・融資）】

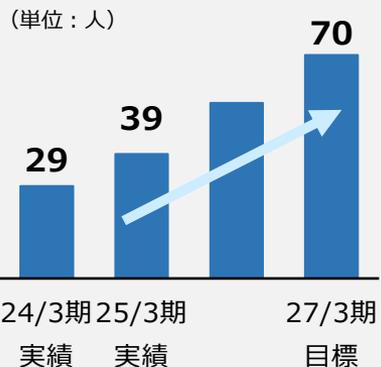


※基準人員（当社独自算出）を活用した比較

人的資本経営による「高活力・自律型組織」を実現するため、人的資本への投資を積極的に実施するとともに、社員の自律的な能力開発をサポートしました

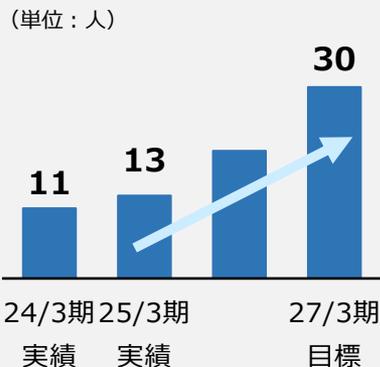
## 自律的能力開発

### ジョブクエスト制度利用者数



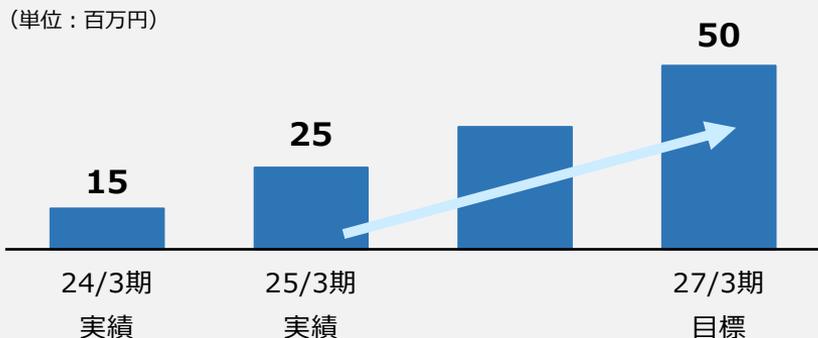
※2021年度以降の累計

### F A制度利用者数



※2021年度以降の累計

### 社員育成ファンド投資額

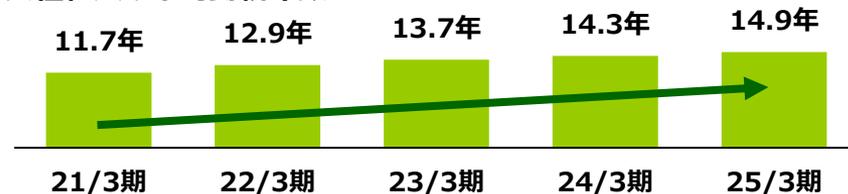


## 多様な人財の活躍

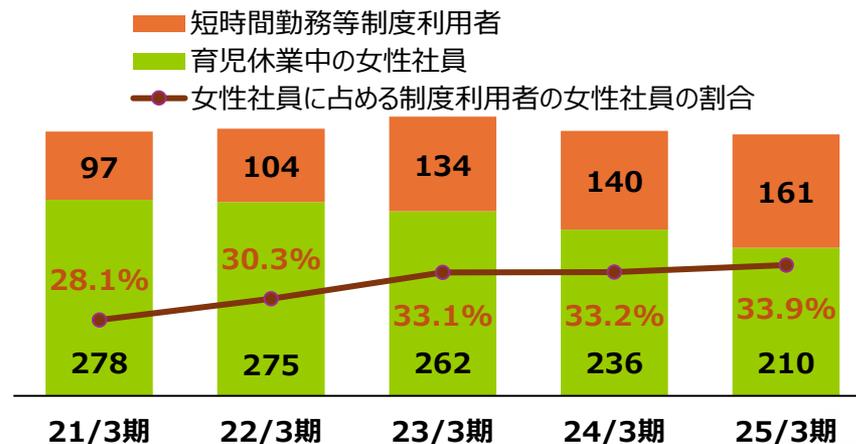
### 女性活躍推進

女性社員のキャリア形成支援の充実や、育児との両立支援策の充実に取り組んだ結果、定着率が向上し女性の平均勤続年数は伸長しています。仕事と育児の両立を目指す社員が、活躍し続けられる支援制度の拡充を図ることで、豊かな地域社会の発展への寄与と、当社の更なる成長を目指してまいります。

### 女性社員の平均勤続年数



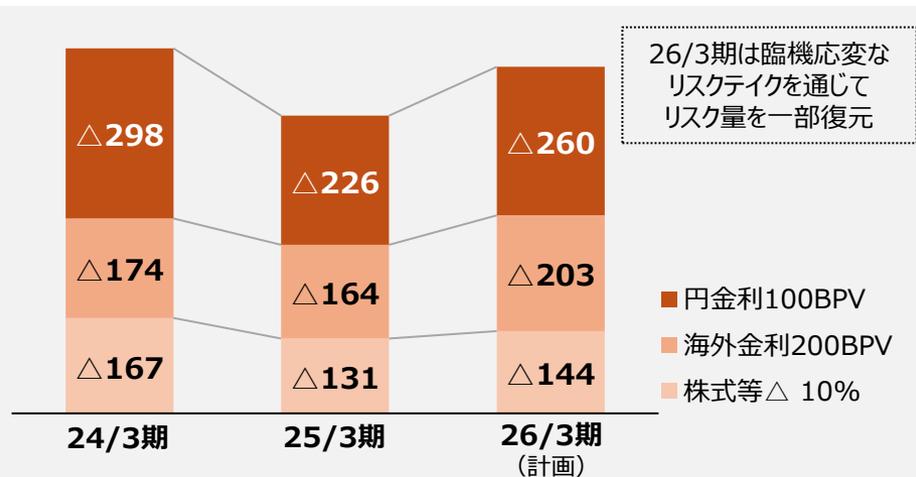
### 両立支援制度利用の女性社員の推移 (単位：人)



2025年3月期は株式売却益も活用しながら銘柄入替によるアプローチを中心としてリスク量を削減しつつ利回り改善を図るなど、ポートフォリオの質を改善

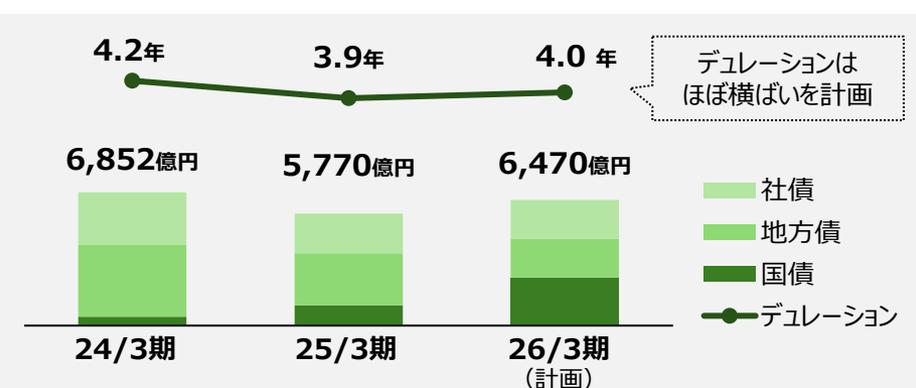
現中計期間を体力回復期と位置付け、円金利上昇局面においては引き続き変動債比率を引き上げるとともに、外貨債券・株式含め臨機応変なリスクテイクによって、経営体カ・リスクコントロール能力に見合ったキャリー収益中心のポートフォリオ構築を目指す

## ■ リスク量の推移



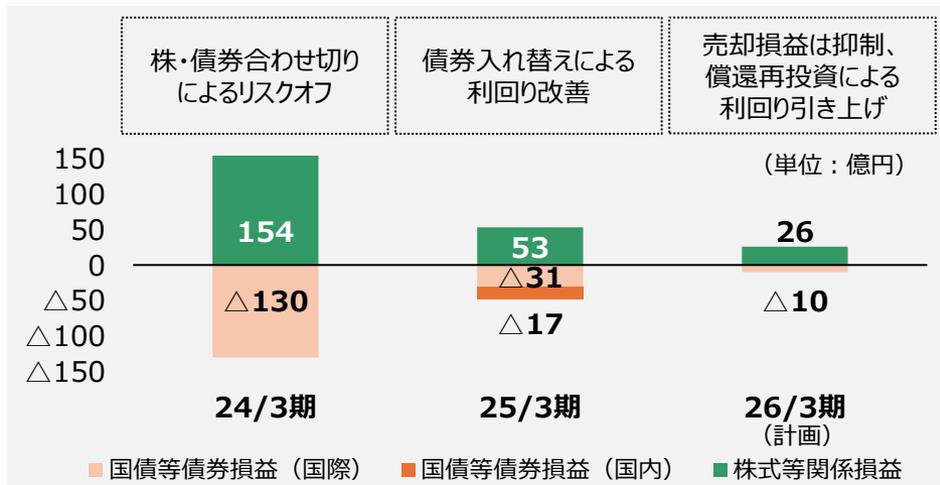
※投資信託は組み入れ資産に応じてリスク量を振分け

## ■ 国内債券残高とデュレーション

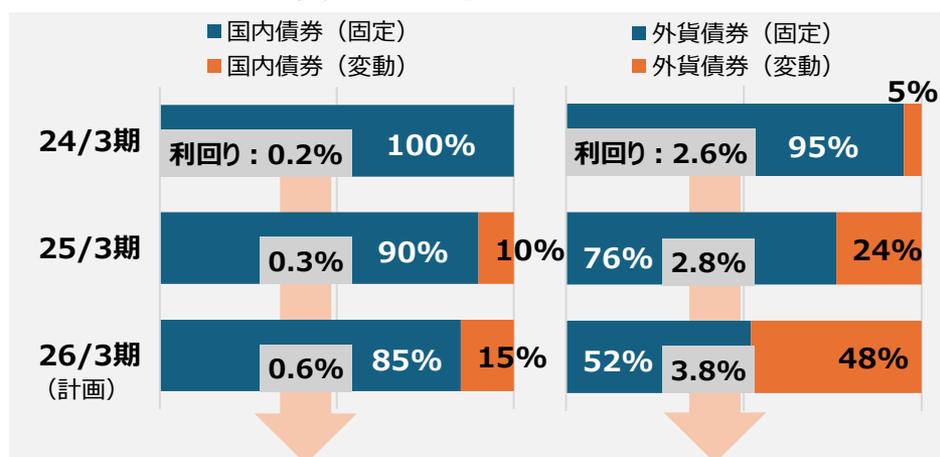


※デュレーションはアセットスワップのヘッジ考慮後

## ■ 有価証券関係損益の推移



## ■ 債券残高に占める変動債比率と利回り



自己資本比率は、バーゼルⅢ最終化適用によるリスクアセットの減少を主因として大きく上昇  
 2025年3月期末配当の増配を加味しても、連結自己資本比率は完全実施ベースで9%程度を維持し、健全性は確保

## 資本運営の基本方針

“自己資本の充実による健全性の維持”、  
 “持続的成長に向けた投資”、“株主還元の充実”  
 の3つの観点において、バランスの取れた資本  
 運営を行う。

### 株主還元

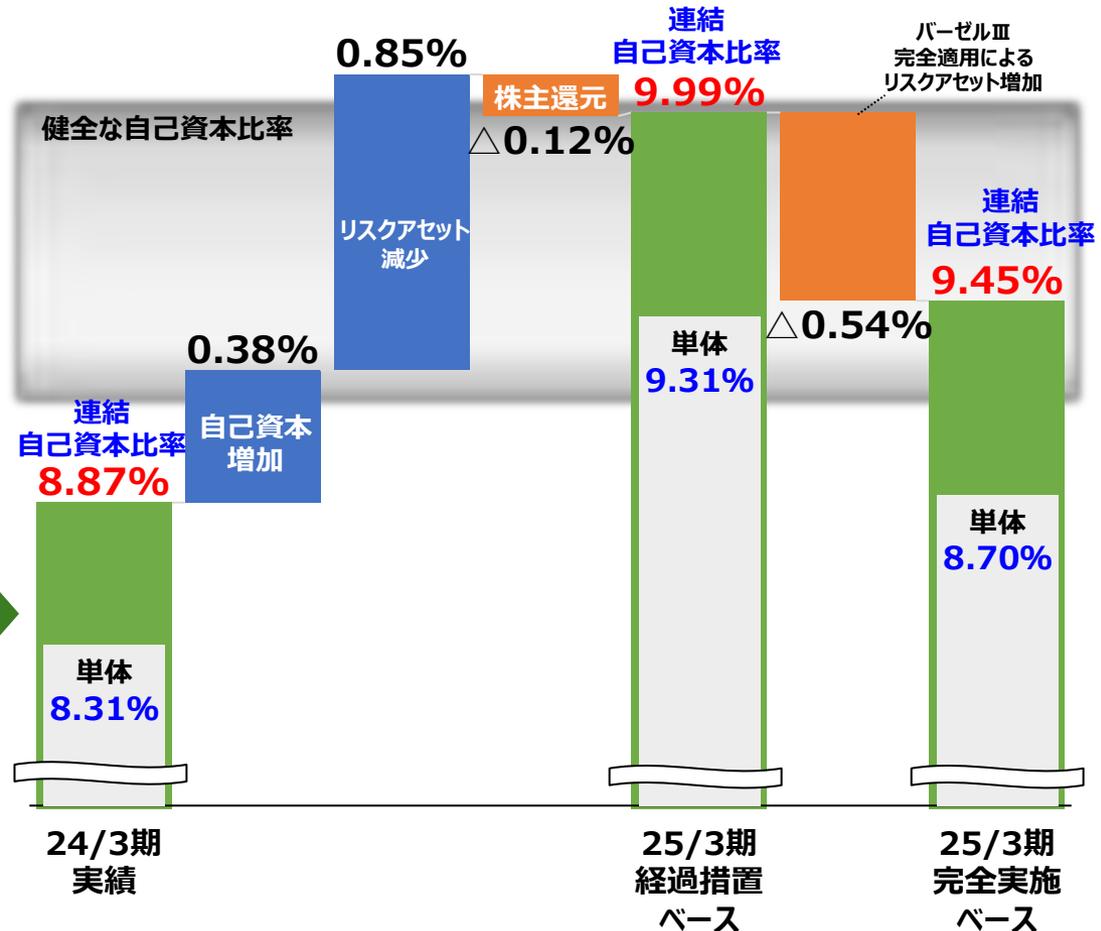


成長投資



健全性の  
維持

## 25年3期 自己資本比率



2025年2月に株主還元方針を策定。2025年3月期末配当は20円の増配を実施し、年間配当を90円に引き上げ。

## 資本運営の基本方針

“自己資本の充実による健全性の維持”、“持続的成長に向けた投資”、“株主還元の充実”の3つの観点において、バランスの取れた資本運営を行う。

### 株主還元

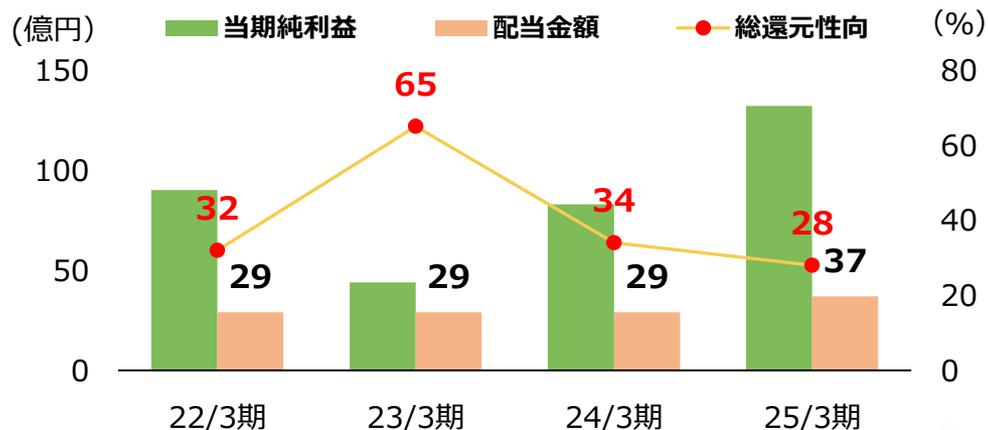


## 株主還元方針

### 【株主還元方針】

地域のお客さまの信頼にお応えすべく持続可能な経営基盤を確保するため、内部留保の充実に努めてまいります。それを前提としたうえで、安定配当を基本的な株主還元とし、今後の自己資本比率の水準や業績の見通し、外部環境などを総合的に判断し「配当拡大」や「自己株式の取得」による追加的な株主還元を実施し、総還元性向30%程度を目標とします。

|       | 中間配当    |         | 期末配当    |         | 年間配当  |
|-------|---------|---------|---------|---------|-------|
|       | 基本的株主還元 | 追加的株主還元 | 基本的株主還元 | 追加的株主還元 |       |
| 24/3期 | 35円/株   | －       | 35円/株   | －       | 70円/株 |
| 25/3期 | 35円/株   | －       | 35円/株   | 20円/株   | 90円/株 |
| 26/3期 | 45円/株   | －       | 45円/株   | －       | 90円/株 |



## 政策保有株式はみなし保有株式を含めた連結純資産比率（時価ベース）20%まで縮減を目指す

### 【政策保有株式に関する方針】

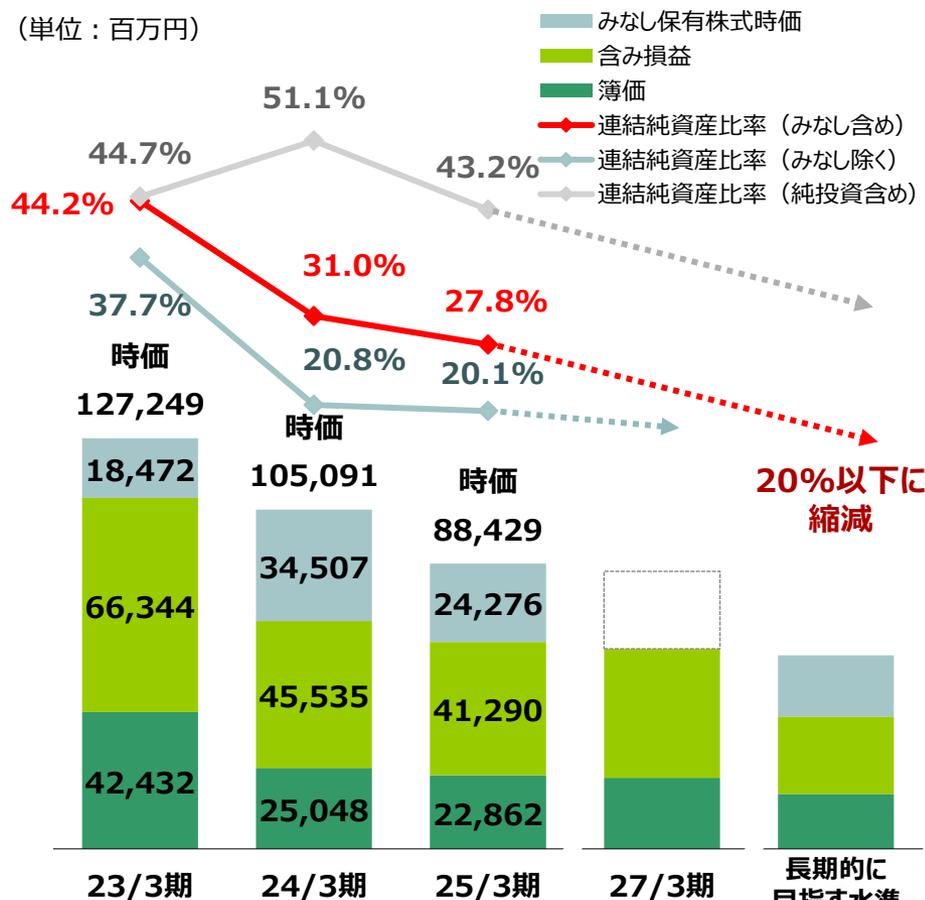
政策保有株式については、保有便益やリスクが資本コストに見合っているかなどを踏まえつつ、個別に中長期的な経済合理性や将来の見通しの検証を定期的に行っています。経済合理性の検証に当たっては収益性・健全性の観点による検証を実施しています。その結果、地域金融機関として取引先との長期的・安定的な取引関係の維持・強化や、当社の事業戦略上の事由などから保有の適否を総合的に判断し、保有の意義が認められない銘柄については、売却または残高圧縮を基本方針としています。2024年度については、検証の結果、保有の妥当性が認められなくなった政策保有株式の縮減を図っています。

### 政策保有株式の推移（みなし保有株式含む）

（単位：百万円）

|         |         | 24/3期   | 25/3期   | 24/3期比  |         |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 全体      | 上場株     | 銘柄数     | 89      | 78      | ▲11     |
|         |         | 時価      | 66,265  | 59,857  | ▲6,407  |
|         | 非上場株    | 銘柄数     | 143     | 142     | ▲1      |
|         |         | 時価      | 4,318   | 4,294   | ▲23     |
|         | みなし     | 銘柄数     | 3       | 3       | +0      |
|         |         | 時価      | 34,507  | 24,276  | ▲10,230 |
|         | 銘柄数     | 235     | 223     | ▲12     |         |
|         | 時価      | 105,091 | 88,429  | ▲16,662 |         |
| 連結純資産   | 338,704 | 318,525 | ▲20,178 |         |         |
| 連結純資産比率 | 31.0%   | 27.8%   | ▲3.3%   |         |         |

（単位：百万円）



## DX戦略

OKBアプリをさらに快適・便利・安心・安全に利用いただけるサービスへと進化させるため、2025年3月より、SBIネオバンキングシステム、日本電気との共同開発を開始。

### 開発コンセプト①

いつでもどこでも  
窓口と同様のサービスを

定期預金取引

投資信託取引

外貨預金取引

etc



画面はイメージ

振込・振替(即時)

2026年春頃

### 開発コンセプト②

セキュリティの高い認証技術で  
安心・安全を



生体認証



パスワード不要

## ファンドビジネス (スタートアップ)

2025年2月にOKB SCLAMBオープンイノベーション創出ファンドを創設。地元地域の中で資金の好循環を生み出す取り組みを志向。

### ■ スタートアップ向けファンド

#### OKB 4 S循環ファンド

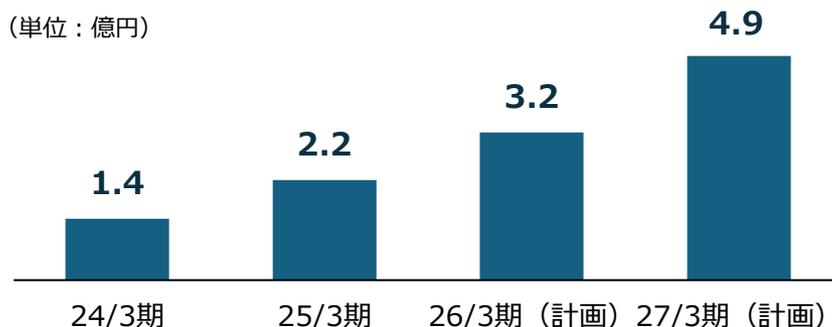
2022年7月～

#### OKB SCLAMB オープンイノベーション創出ファンド

2025年2月～

### ■ ファンドを通じたスタートアップへの投資額 (累計)

(単位: 億円)



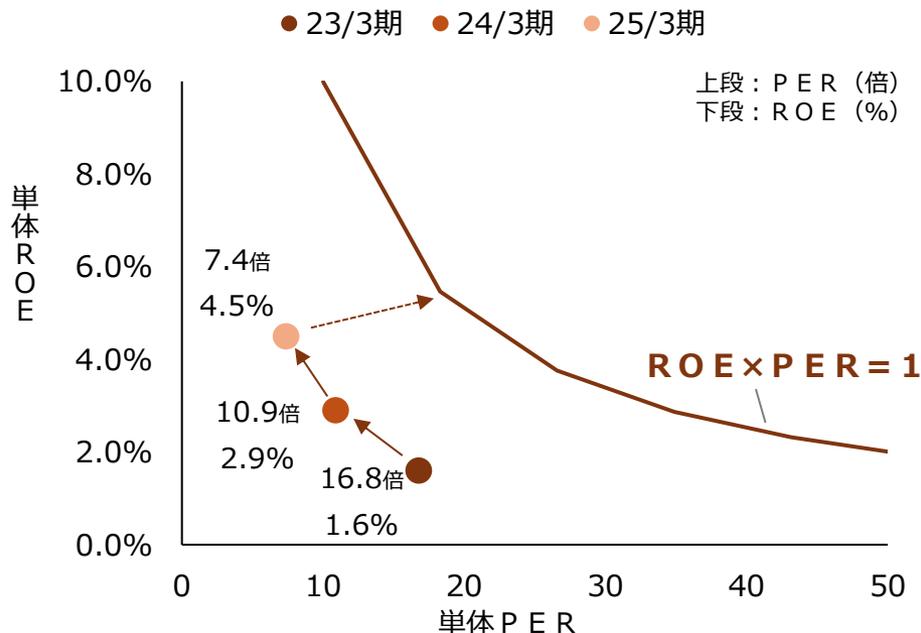
### スクラム オープンイノベーション創出支援拠点「OKB SCLAMB」

2024年4月に岐阜大学内の産学連携オープンイノベーション拠点「Tokai Open Innovation Complex 岐阜サイト」内に、オープンイノベーション創出支援拠点「OKB SCLAMB (スクラム)」を開設。

SCLAMBは本拠点の重点領域である「スタートアップ、カーボンニュートラル、ライフサイエンス、アグリ、モノづくり」に注力し新たなビジネスを創出することを目指し、それぞれの英語の頭文字をとった造語。

## PER推移

当期純利益の増加によりROE水準は向上するも、株価への波及効果が低くPERは悪化。



## 投資家との対話

投資家との対話機会を増やし、経営戦略・経営理念の伝達を行うとともに、対話内容からニーズに沿った情報開示への更新や、当社のガバナンス高度化を志向。

投資家との対話数

12回



34回

## 非財務に対する取り組み

|  | 目標値                 | 25/3月期         | 達成年度   |
|--|---------------------|----------------|--------|
| CO <sub>2</sub> 排出量削減(2013年度比)<br>※2024年11月に目標値を修正 | 50%減<br>↓<br>75%減   | 40.7%          | 2030年度 |
| サステナブルファイナンスの実行金額                                  | 1兆<br>2,000億円       | 4,385億円        | 2030年度 |
| M&A支援先数(年間)<br>事業承継支援先数(年間)                        | 600先<br>1,300先      | 790先<br>1,180先 | 2026年度 |
| エンゲージメントスコア  | 68以上                | 69             | 2026年度 |
| 多様性向上<br>女性リーダー職(主任以上)比率                           | 30%以上               | 29%            | 2030年度 |
| 投資家等との深度ある対話(年間)<br>※2025年6月に目標値を修正                | 20回以上<br>↓<br>30回以上 | 34回            | 2030年度 |

## オフサイトPPA<OKBソーラーパーク養老>

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| 設置場所                  | 養老研修所敷地内 |
| 設置者                   | 中部電力(株)  |
| パネル容量                 | 1,695 kW |
| 発電量                   | 約190万kWh |
| CO <sub>2</sub> 排出削減量 | 約800トン/年 |



▲OKBソーラーパーク養老の完成イメージ